

令和 7 年度第 1 回宇城市地域公共交通活性化協議会書面協議結果について

標記協議会について、書面により開催したところ、下記の結果となりましたので報告します。

- 1 書面開催基準日 令和 7 年 8 月 2 6 日
- 2 審議事項 議案第 1 号 令和 6 年度宇城市地域公共交通活性化協議会決算
議案第 2 号 令和 7 年度宇城市地域公共交通活性化協議会補正予算（案）
- 3 審議結果 委員の過半数の承認を得たため、原案のとおり承認
- 4 報告事項 報告第 1 号 令和 6 年度宇城市地域公共交通活性化協議会事業評価
報告第 2 号 宇城市地域公共交通活性化協議会運賃分科会の報告
報告第 3 号 共同経営推進室からの意見照会
報告第 4 号 松橋・宇土エリアの路線網再編

5 その他

報告第 4 号に対する委員からの意見

宇城市地域公共交通網形成計画（～2025. 3）92ページにおいて、市街地や観光地を回遊する新たな地域公共交通の導入を実施事業として掲げており、具体的な取り組みはなかったと評価されている。地域公共交通計画では市街地回遊は削除されているとはいえ、今回の再編に絡めてJRと市街地の連携について検討されたのでしょうか。市街地との連携は図らない方向で公共交通網の整備を行うのでしょうか。

事務局回答

今回の再編については、産交バスターミナル廃止に伴う既存路線をどのように維持するかを検討しており、地域公共交通計画で計画している、JR とバスを連結させることを主題に検討している。

R7. 10. 1 以降、宇城市内を走る 14 路線中 8 路線が JR 松橋駅と結節されることとなり、JR 利用者がバスを利用する際の利便性向上（産交バスターミナルへ移動する必要がなくなる。）が図られているところである。

ただし、委員からのご質問のとおり、宇城市において、市街地内の拠点施設（駅・図書館・市役所・学校・商業施設）を結ぶ公共交通網がないため、拠点を乗継なしで利用することはできず、JR 松橋駅で乗継を行う場合であっても、運行ダイヤの関係上、待ち時間が発生してしまうことは予測できる。運転士の労働条件、利用者の要望、事業者の採算性などを考慮した上で、市街地との連携を図ることは、今後の課題であると認識している。